2027年3月期 第1四半期 決算説明サマリー

株式会社セキュアヴェイル

2026年4月1日-2026年6月30日

お客様に最適かつ高品質のセキュリティサポートサービスと安全なセキュリティ環境を提供することで、「ネットワーク社会」におけるインフラの担い手として、社会の要請に応える。

連結業績ハイライト

■ **売上高：260.5百万円（前年同期比▲17.5%）**

・ストック型サービスは前年並み

・前年同期の大型ソフトウェア販売案件が非発生

・通期見込み通りに業績推移

（商談案件は順調。例年、期末時等に棚卸資産ゼロの公共向けソフトウェア販売が急増、収益向上）

■ **営業損失：52.5百万円（前年同期は39.7百万円の利益）**

・既存ソフトウェアの先行費用：20百万円

・販促強化の広告宣伝費：+4.8百万円

・人件費：+12.7百万円

■ **四半期純損失：53.7百万円**

単位：百万円（%）	前々第1四半期	前第1四半期	当第1四半期
売上高	229.1	315.7	260.5
営業利益 （利益率）	△31.6 （△13.8%）	39.7 （12.6%）	△52.5 （△20.2%）
経常利益 （利益率）	△31.6 （△13.8%）	39.8 （12. 6 %）	△51.9 （△20.0%）
当期純利益 （利益率）	△32.9 （△14.4%）	28.6 （9.1%）	△53.7 （△20.6%）

セグメント別状況

■情報セキュリティ事業

・売上高：194.7百万円（▲23.9%　前期大型ソフトウェア販売案件）
・セグメント損失：22.0百万円
・「AI-SOC」広告宣伝を強化
・既存ソフトウェアの先行費用

■人材サービス事業

・売上高：65.7百万円（+10.2%）
・セグメント利益：7.6百万円
・派遣案件が順調に推移

セグメント別状況			
＜情報セキュリティ事業＞			
単位：百万円	前々第1四半期	前第1四半期	当第1四半期
売上高	182.1	256.1	194.7
セグメント利益	14.0	74.9	△22
＜人材サービス事業＞			
単位：百万円	前々第1四半期	前第1四半期	当第1四半期
売上高	47.0	59.6	65.7
セグメント利益	1.1	8.8	7.6

SecuAvail

事業環境の変化

ビジネスチャンス増大

■ 経済安全保障の強化が急務（純国産の重要度↗）

・国際的な決済ネットワーク障害を契機に、重要インフラのレジリエンス向上が加速

■ ガバメントクラウド移行の進展（純国産の重要度↗）

・期限は延長も、特定事業者への集中が進行

・デジタル主権・通信ログ統合管理が課題

■ SOC運用支援の需要増加

・高度化するクラウドセキュリティ

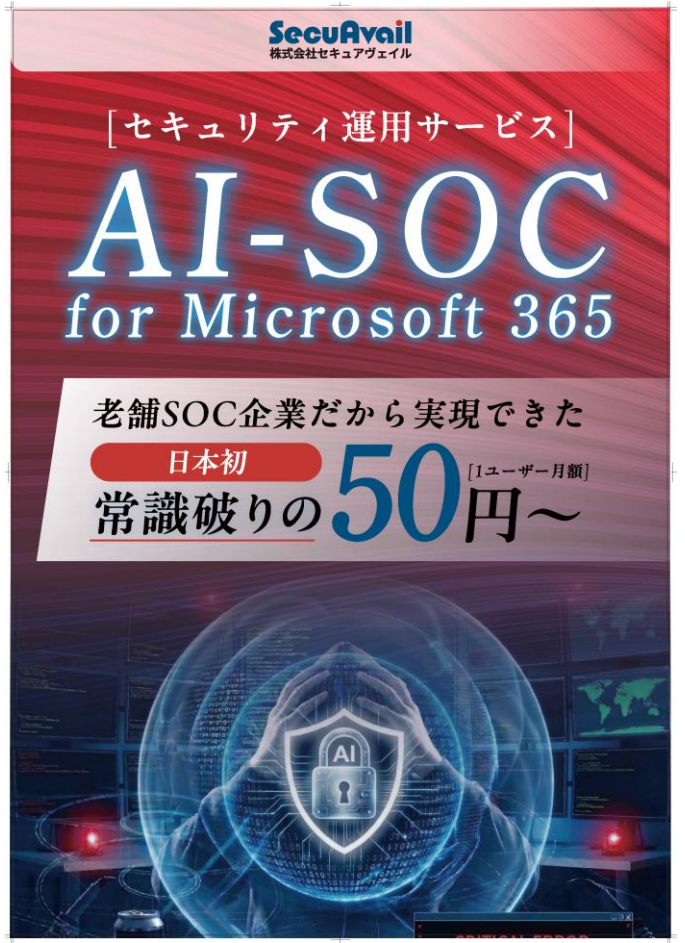
・対応可能な人材不足が深刻化

「AI-SOC」シリーズの成長ポテンシャル

■ 集中的なプロモーションにより認知度が急速に向上
・Interop Tokyoで実用面で高評価
・展示会後の商談リードが大幅増加

■ 商談パイプラインの“確実な刈り取り”で収益飛躍の可能性
・AI-SOCは高収益案件が多く、裾野も広い
・成約に至れば 収益が大きく飛躍する可能性

■ ガバメントクラウド・SCS評価制度という追い風（純国産独自開発の強み）
・ログ管理・監視の標準化が進む
・当社サービスとの親和性が高く、導入ニーズ拡大の可能性

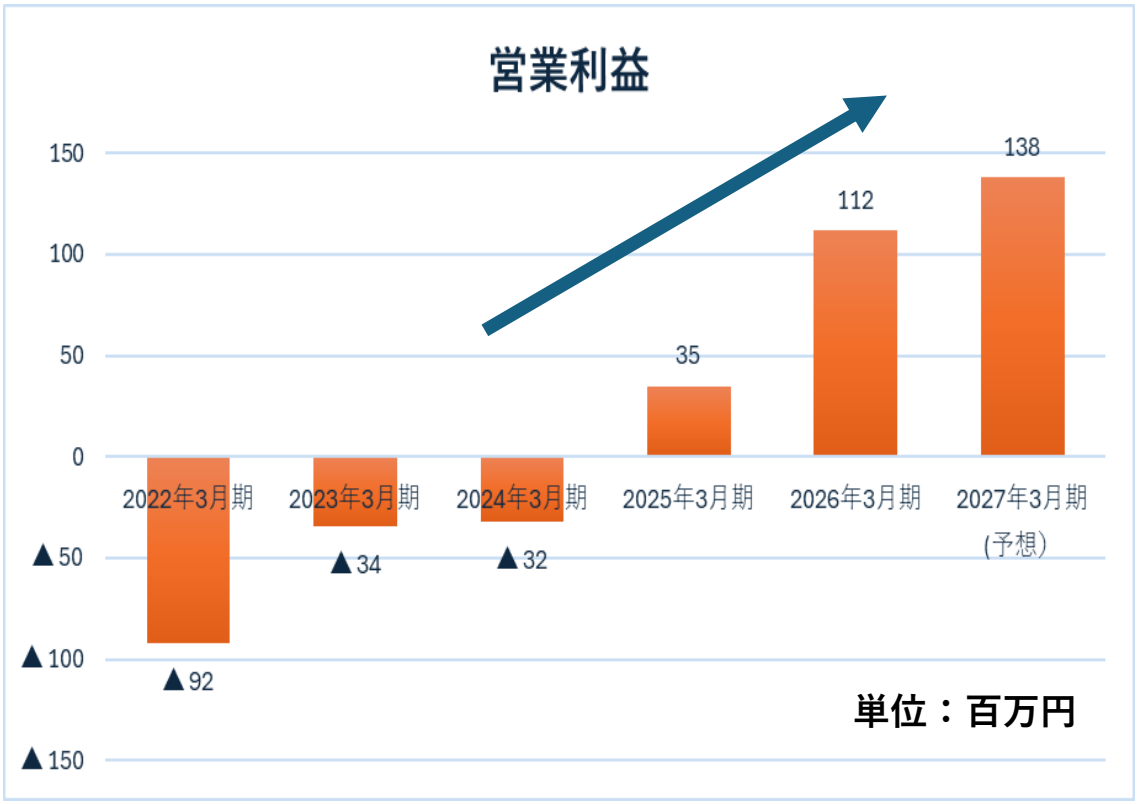


ガバメントクラウド
デジタル庁が主導して整備する、国や地方自治体が共同で利用する共通のITインフラ（クラウド基盤）。これまで全国の自治体、組織が個別管理していたシステムを共通化することで、コスト削減、セキュリティ向上、行政手続きのオンライン化、自治体間のスムーズなデータ連携を推進する仕組み。政府は2026年度末に全体の9割完了を目指している。初期に選定されたガバメントクラウドは米国IT大手（Amazon, Google, Microsoft, Oracle)に占められていたため、安全保障や円安等のリスクがある。最近純国産のさくらインターネットがガバメントクラウドに選定された。各自治体及び組織は、システム操作の「ログ管理」を行い、監視・証明（監査）の必要がある。

SCS評価制度
経済産業省が主導する、自動車産業等で原材料調達から販売までの一連のつながりであるサプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度で、企業のサイバーセキュリティ対策の強さを「星の数」でわかりやすく格付けする。法規制はないものの取引先から☆3以上の評価を要求される状況が推定される。2026年度末の運用開始が示されている。2025年後半からアスクル、アサヒグループホールディングスや冷蔵物流のニチレイでは、ランサムウェア（身代金ウィルス）等の攻撃で経済活動が止まる大打撃を受けている。

連結業績推移

通期見通し（計画通りに推移）



SecuAvail

重点施策

- 「AI-SOC」シリーズを軸としたパートナー開拓
- 既存パートナーの活性化
- 既存顧客への関与度向上
- LogStare製品の販売強化
- 「AI-SOC」シリーズの広告マーケティング戦略を継続展開

AI-SOCシリーズ

25年にわたるPAシリーズのSOCノウハウをAI化
リスクの高い通信を迅速に検知・通知します

AI-SOC for PaloAlto

powered by NetStare

『AI-SOC for PaloAlto』はPA-400シリーズの通信のログをAIが分析し、セキュリティリスクの高い事象を検知してアラートする次世代のSOC（Security Operation Center）サービスです。
SOC黎明期から25年にわたって培ったセキュアヴェイルのSOCノウハウをAIに継承し、不正アクセスや不審な通信による情報漏えいの可能性を検知してアラートします。

こんな異常をアラートします
- ✓ ウィルス感染の疑いがある端末
- ✓ フィッシングサイトへのアクセス
- ✓ VPNアカウントの不正利用の予兆
- ✓ 管理者アカウントの不正利用の予兆

※サービス提供対象は、PA-410, 415, 440, 445, 450となります
※アラート内容はご利用中のライセンスやポリシーにより異なることがございます

24時間365日ネットワークを監視
リスク兆候をＡＩが継続的に分析し
必要なタイミングで通知します

- 通過するすべての通信のログを分析しリスクを可視化
- いざという時は24/365の有人窓口への質問もOK
- より高度なマネージドサービス(SOCサービス)への拡張も可

歴25年の豊富なSOCノウハウでFortiGateを監視
不審な通信をいち早くアラートします

AI-SOC for FortiGate

powered by NetStare

『AI-SOC for FortiGate』はFortiGateの通信のログをAIが分析し、セキュリティリスクの高い事象を検知してアラートする次世代のSOC（Security Operation Center）サービスです。
SOC黎明期から25年にわたって培ったセキュアヴェイルのSOCノウハウをAIに継承し、不正アクセスや不審な通信による情報漏えいの可能性を検知してアラートします。

こんな異常をアラートします
- ✓ ウィルス感染の疑いがある端末
- ✓ フィッシングサイトへのアクセス
- ✓ VPNアカウントの不正利用の予兆
- ✓ ブロックされていない不正アクセス

※FortiGate 30, 40, 50の各シリーズを対象としたサービスです
※アラート内容はご利用中のFortiGateのライセンスやポリシーによります

人の目より速く、広く、深く
ＡＩ－ＳＯＣがネットワーク通信の
セキュリティリスクを即キャッチ

- 月額9,800円、AI-SOCだから実現できるサービス価格
- いざという時は24/365の有人窓口への質問もOK
- より高度なFortiGateマネージドサービスへの拡張も可

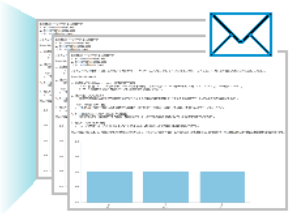
Microsoft 365の“運用上のリスク”をAIが監視
クラウド時代の新しいSOCサービス

AI-SOC for Microsoft 365

powered by NetStare

『AI-SOC for Microsoft 365』はMicrosoft 365の利用状況をAIが監視し、セキュリティリスクの高い事象を検知してアラートする次世代のSOC（Security Operation Center）サービスです。
SOC黎明期から25年にわたって培ったセキュアヴェイルのログ分析のノウハウをAIに継承し、Microsoft 365の監査ログからアカウント乗っ取りの可能性、外部からの不正アクセスによる侵入、アクセス権の不備による情報流失のリスクなどを検知してアラート通知します。

- 従業員のアカウントが不正使用された!?
- 重要ファイルが世界中に公開された!?
- 退職者が重要ファイルをダウンロードした!?
- 管理者権限を悪用された!?



人手では見逃しがちなリスクを
ＡＩ－ＳＯＣが代わりに監視
クラウド活用の安心と効率が向上します

- 1ユーザー月額50円、AI-SOCだから実現できるサービス価格
- いざという時は24/365の有人窓口への質問もOK
- より高度なSOCやログ分析サービスに柔軟に拡張できる

SCS評価制度への対応